

AJAランキング

Table with columns: Callsign, A J A, 1.9, 3.5, 7, 10, 14, 21, 28, 50, 144, 430, 1200, 2400, 5600, REPT, 資格, PWR. Lists various call signs and their corresponding statistics.

Table with columns: Callsign, A J A, 1.9, 3.5, 7, 10, 14, 21, 28, 50, 144, 430, 1200, 2400, 5600, REPT, 資格, PWR. Lists various call signs and their corresponding statistics.

AJAポイントは、JARL News発表と自己申告のうち大きいほうを表示しています。

REPTは自己申告の年月(19\_\_年\_\_月。月不明は00)

資格: A:1通 H:1アマ I:2アマ L:電信級 N:電話級

AJA1000-3000のデータが不十分です。お知の方にもPRをおねがいします。

ランキングは毎月更新します。数か月に1度で結構ですのでレポート下さい。

JN3PYQ

発行が大変遅くなり申し訳ありません。データベース化しましたので容易に更新が可能になりました。次回より紙面増したいと思います。近況や移動運用の情報などお待ちしています。

JIGSZ

QAJAを始めた動機

転勤族なのでどこへQSYしても続けることができる。HAMを長く楽しむ為目標があったほうがよい。集まったQSLカードをただ積み上げるだけにしなくなった。

Qコンテストの活用方法(活用度)

全国レベルのものにはほとんどでない。(できる隙間がない、QSLの回収率が悪い) ただしふだんは話の長い3.5MHzだけはショートQSOで地元エリアのオール九州コンテストのみに参加していた。

上記記載数値中3.5MHzでは約80%、全バンドでは10%以下のカウント率

Q移動運用の活用方法

QTEが鹿児島県の種子島だったので島内しか移動出来ないがAJAerが移市のひとつとして挙げている 西之表市へ移動するとたしかに呼ばれた。しかしある程度AJAをカウントするとQSO数の割にNewは「ふえない。こちらも移動局にお世話になってお返しのつもりでQSOしていた。活用方であれば「借りは返す」といった精神論か。

QQSL回収率及びそれを高める工夫

回収率は今までHFが主だったため90%以上。JARL経由のみで催促はしてない、ただ自局の発行率は100% 確実を維持している。

Table with columns: 呼出, 1.9, 3.5, 7, 10, 14, 21, 28, 50, 430. Lists call signs and their statistics.

QAJAバンド別 内取 9月初旬現在 合計1859枚

QAJAを始めた動機 ローカル局の競争を受けて。WACA,WASA,CCC,JCRCに勝つために他は目標を定めずともOK。

Qコンテストの活用方法(活用度)

AJAに比べて多少しも競争がよいという点。日頃より出るバンド(2.5,14MHz)で通信がある。地方コンテストは回数を増やしてLIVEにだけ参加するがよい。ただし主催側が参加者が多いので、回数を増やせば、それは十分だ。

Q移動運用の活用方法

恒常的に移動運用は行っていたとしても、相手局が移動している場合は、より積極的に呼ぶ方がよい。 (無意味な回数は減らす)

QQSL回収率及びそれを高める工夫 P.5 通常QSO、85%以上。コンテストQSO、75%以上。WACAコンテストで同バンド。運用地のQSLは通常より回収しやすい(原則として)。7.4MHz帯は最近ではほとんど回収できない。(全バンドでQSOするバンドは、種子島に移動して、3.5MHz帯以外でコンテストに参加する際は、1.9MHz帯の発行率が高い)。現在でも、未定帯に打ち合わせはしてない。報告書を見直し、各バンドに83%以上。

CQ-WGLA

Table with columns: Callsign, Grids, 1.9, 3.5, 7, 10, 14, 21, 28, 50, 144, 430, Sat, REPT, LOC. Lists call signs and their statistics.